

事務事業名	ケアマネジメント関係機関との連携事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	T449				
	□ 実施計画事業		所属課室	福祉総合相談課		課長名	小林 千江				
			所属担当	相談支援担当		担当者名	横山 千栄美				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	04	介護	04	02	01	005	02	
施策	27	地域福祉の充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	介護保険法							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)								
	・介護支援専門員への支援		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
	・居宅介護支援事業所等との連携		その他委託料	5,000							
	・個別事例を通しての連携						計	5,000			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	主任介護支援専門員を設置し、包括的、継続的ケアマネジメントの実践や介護サービス事業所等との連携を図り、高齢者支援体制を整備	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
25年度活動実績	主任介護支援専門員を設置し、包括的、継続的ケアマネジメントの実践や介護サービス事業所等との連携を図り、高齢者支援体制を整備	⇒	ア	介護支援専門員への相談支援	件数
26年度活動予定	主任介護支援専門員を設置し、包括的、継続的ケアマネジメントの実践や介護サービス事業所等との連携を図り、高齢者支援体制を整備	⇒	イ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	居宅介護支援事業所、介護支援専門員	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
		⇒	ア	市内居宅介護支援事業所数	ヶ所
		⇒	イ	市内介護支援専門員数	人
		⇒	ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	支援が必要な高齢者への対応を円滑に出来る。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
		⇒	ア	介護支援専門員への相談支援	件数
		⇒	イ		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	支援が必要な高齢者が安心して生活できる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
		⇒	ア	高齢者が老後も安心して暮せると思う割合	%
		⇒	イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	事業費計(A)			千円	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	6	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1,920	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824	
		人件費計(B)	千円	8,738	8,301	8,301	8,301	8,301	8,301	8,301	0
		(A)+(B)			千円	8,738	13,301	13,301	13,301	13,301	13,301
活動指標		アイウ	件数	522.0	520.0	520.0	520.0	520.0	520.0	520.0	
対象指標	アイウ	ヶ所	26.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0			
	アイウ	人		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0			
成果指標	アイウ	件数	522.0	520.0	520.0	520.0	520.0	520.0			
上位成果指標	アイ	%	38.0	38.1	38.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年度の介護保険改正に伴い地域包括支援センターが設置されてから開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	高齢化が進んでいる。一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯も増加傾向である。また認知症になる人も増えてきているため、多くの問題を抱えているケースは今後増えていく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	介護支援専門員が相談する場は必要。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市内の居宅介護支援事業所との連携や介護支援専門員との連携は図ってきた。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	専任で主任介護支援専門員を設置し、主任介護支援専門員の業務の体制整備を図ってきた。市内主任介護支援専門員との試行的地域ケア会議を開催し、個別のアセスメント力の向上や個の課題を地域課題に転換する取

事務事業名	ケアマネジメント関係機関との連携事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉総合相談課
-------	--------------------	-----	-------	-----	---------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 主任介護支援専門員を専任で設置し、各関係機関との連携を更に強化していくことで、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていける環境がつけられていくため、上位目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域包括支援センターの業務として位置づけられているので、公共関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 専任で主任介護支援専門員を配置することにより、他機関との連携強化等を行い、高齢者への支援体制の整備が期待されるため、今後も維持していくことが必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 専任で主任介護支援専門員が配置され、関係機関との連携をより強化することで、介護保険事業所の職員の質の向上にもつながり、成果の向上が期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 高齢者への適切な支援が滞ってしまう可能性がある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 高齢者への支援を行う上で、他機関との連絡調整は不可欠である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 主任介護支援専門員設置のみの費用のため費用で削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 主任ケアマネジャーを設置するための費用で削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全体の介護支援専門員や事業所を対象とした事業であり、公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成24年度から専任で主任介護支援専門員の配置をしている。地域包括支援センターの主任介護支援専門員として市内の介護保険サービス事業所全体、各分会、介護支援専門員への支援等を中心に活動している。26年度についてはプロポーザルにより選出された主任介護支援専門員を配置していくこととなった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ①専任の主任介護支援専門員を配置したことで、より専門的な活動に従事できる体制整備を行う																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①市内の介護保険サービス事業所や介護支援専門員との連携の強化 ②市内の介護支援専門員のスキルアップのための研修会等の開催	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					